

# ガンコ親父の

土曜日、長男の息子である孫の「博喜」が一人で遊びに来た。クリスマスを前に、孫の笑顔が見れるとは「こりゃいいプレゼントだ」と、松次郎は相好を崩した。「ねえ、ねえ、おじいちゃん」と博喜が声をかけた。「三匹の子豚の話って知ってるよね？」松次郎は記憶に自信はなかったが、妻の貴代と次男の学はニコニコと笑ってうなずいた。

「おじいちゃん達三人の中で、一番童話に詳しい素敵な人はだあれ？」と博喜が尋ねた。松次郎と貴代は学を指差した。育児真っ最中の学が絵本には一番詳しいはずである。それでは学おじちゃん、三匹の子豚たちが作ったお家で、狼が一番嫌がったお家は何番目の子豚が作った家だったのでしょうか？と、博喜は尋ねた。一番目の豚の「わらの家は狼の息で吹き飛び、二番目の木の枝の家は体当たりで壊れた。三番目の子豚が作った「煉瓦造りの家」が話の中では堅固で防犯上最強だった。ふふっ、簡単、簡単と、学は小学生相手に余裕を見せた。「三番目の子豚の家！」

「さすがです。正解。じゃあ、お聞きしますが、なぜこの童話には豚が「三匹」登場するのでしょうか？」と博喜は尋ねた。「なぜ三匹？って、そう言われてもなあ」と学は頭をかいた。ひよつとしてこのパターンは、頭の大きな女の子が出てくるNHKテレビ番組の展開パターンと同じじゃないか。そうだったらと、学は答えられない悔しさをかみ締めながら、最後の決め台詞を子供から言われないように、「ポーっとして、すみません」と自虐的に先手を打った。

「ホント、お前はいつもポーっとしてるんじゃないよ」と松次郎は悪ノリした。ムツとした学は「親父は人のこと笑っているけど、自分は分かっているのか？本当はその前の三匹の問題だって分かっているんじゃないか？」と、言い返した。「童話の内容は忘れてしまっていることも多いし、もちろんお前が言うように子豚の三匹問題だって、苦労するよ。まあ、もうすぐクリスマスだし、サンタク、クロウスだよな、なあんちゃって」「??？」みんな啞然とした。

「本当はね、僕もよく分からないんだ。パパに聞いても分からないし。ひよつとしておじいちゃんなら知っているかもしれないと思っ」と博喜は言った。「でも、もういいです。クラス担任の先生に聞いてみます」と、残念そうだった。それから、これ。パパが持って行けて、僕も少し小遣いを出しました。おじいちゃんには、いつも面白い話を聞かせてもらっているし、そのお礼です。博喜は少し重そうに「しまっちゅ伝蔵」を松次郎に差し出した。これ以上ない嬉しいお歳暮だった。「小遣いを出すなんて、なんて出来た子だろう」と松次郎は目頭を熱くし、「半端ないな」と学も感心した。「そだねー」と貴代も微笑んだ。博喜を送り返した後、松次郎は言った。「ポーっとしてるんじゃないよ。飲むぞ、さあ、肴の準備！」「はいはい」「はいはい一回でいいー！今年も色々あったけれど、みんな健康でよかった。松次郎の頭の中には今年も「感謝」の文字が大きく浮かんでいた。



常圧蒸留  
奄美黒糖焼酎  
25度  
伝蔵  
でんぞう

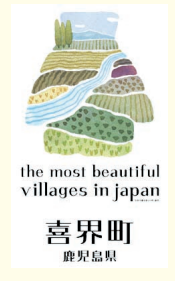
昔ながらの手造り  
こだわり焼酎  
喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12  
☎0997(65)0251

25度  
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



# 「流行語」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。